

令和3年度 第1回理事会

1 招集日時	令和 3年 4月 21日 (水)	14:00～
2 開催日時	令和 3年 4月 21日 (水)	14:00～
3 開催場所	アンジェリーナ (天童市)	
4 出席役員	理事	居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹 彦田 耕一 樋口 悦子 高橋 勝也 佐藤 直仁 伊藤 久美 長澤 彩 白田 美香 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 古城 尚子 高橋 裕美 高橋 郁子 玉井 真実 監事 小川 一弥 鈴木 智美 (総理事数 22名、監事数 3名) 議長 居鶴 一彦 書記 高橋 郁子 高橋 裕美

5 議事

本理事会は、理事 22 名のうち 19 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

日臨技理事会、北日本支部幹事会の内容について別紙資料をもとに報告があった。

- ・令和3年度事業計画(案)について。重点事業として ①タスク・シフト/シェア推進②「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」を受け「臨地実習指導者講習会」の開催③「日臨技品質保証施設認定制度」のパイロット事業を展開④「生涯教育履修制度」のあり方⑤日臨技の組織強化と都道府県技師会との連携強化⑥IT 技術を活用した事業展開 が報告された。
- ・2021年1月～2022年6月までの会議日程について。
 - 5月15日～16日第70回日本医学検査学会(福岡)がWEBを併用し開催予定
 - 11月から1ヶ月程度北日本支部医学検査学会がWEBでの開催予定
- ・第72回日本医学検査学会は群馬県が担当する予定。
- ・新型コロナウイルス検査設備状況調査について。
- ・臨地実習指導者講習会は今後各支部で開催していく予定。
- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会実計画(案)について。
6月5日(土)山形県病院協議会が開催される。そこでタスク・シフト/シェアに関するWEB研修を行う。

2. 各地区(村山/庄内・最上/置賜)

村山：功労賞・奨励賞の選定実施

庄内・最上：4月7日地区役員会実施(WEB併用)

置賜：地区役員会実施(WEB併用)

3. 各部(庶務/会計/学術/企画)

庶務：第48回定期総会に向け議案書作成中

会計：令和3年4月14日に会計監査が技師会事務所にて実施された。

学術：各部門で研修会を WEB 開催している。遺伝子検査部門は実地研修会を開催。今年度については今後協議予定

企画：特になし

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）
生涯教育：申請に対し処理を行っている。自己申告の際は不備が無いよう注意願いたい。
精度管理・データ標準化：昨年度 2 月 28 日精度管理報告会開催。今年度は遺伝子検査部門も含め 7 月中旬頃サーベイを実施予定。参加費は基本 2000 円。今年度は、細菌検査部門・遺伝子検査部門で試料を市販品購入予定。
山形医学検査編集：次回号を名簿掲載を含み発行予定。
ホームページ：3 月末に県立中央病院・荘内病院の病院紹介を掲載。

○議題

1. 令和 2 年度決算について
別紙資料をもとに報告があり、議長が一同に諮ったところ賛成多数にて承認し、本案は可決された。
2. 令和 3 年度予算案および旅費規程変更案について
別紙資料をもとに報告があり、議長が一同に諮ったところ賛成多数にて承認し、本案は可決された。
尚、日当の支給方法については各部門で交通費と供に支払いを行う。
3. 令和 3 年度山臨技表彰者について
別紙資料をもとに報告があり、議長が一同に諮ったところ賛成多数にて承認し、本案は可決された。
4. 令和 3 年度の活動方針について
令和 3 年度事業計画案について会長並びに各部門より報告された。企画部において、「2. 他団体への協力」を追加することとなった。
5. 第 48 回定期総会について
6 月 12 日（土）天童ホテルにて開催（※理事会後に会長・副会長・庶務部長にて協議を行い、公開講演を総会開始前にすることとした）
6. 山臨技事務所について
現在使用している事務所（山形市松波マルヨシビル）に加えて、同施設 2 階部分の部屋を新たに借用することについて議長が一同に諮ったところ賛成多数にて承認し、本案は可決された。
7. その他：特になし

○連絡事項

- ・WEB 会議アプリ (ZOOM) の利用について：山臨技として学術部以外に 1 つアカウントを増設。担当は 國井庶務部長（予約制）
- ・10 月 23 日 (土) 県学会開催予定。担当は村山地区。
- ・次回理事会（令和 3 年度 第 2 回） 令和 3 年 6 月 12 日 総会前 場所：天童ホテル

令和 3 年度 第 2 回理事会

- 1 招集日時 令和 3 年 6 月 12 日 (土) 11:00～
- 2 開催日時 令和 3 年 6 月 12 日 (土) 11:00～
- 3 開催場所 天童ホテル (天童市)
- 4 出席役員 理事 居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹
彦田 耕一 樋口 悦子 高橋 勝也 佐藤 直仁 長澤 彩
白田 美香 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 阿部 宏美
古城 尚子 高橋 裕美 齋藤 裕 高橋 郁子 玉井 真実
(総理事数 22 名)
- 議長 居鶴 一彦
書記 齋藤 裕 玉井 真実

5 議事

本理事会は、理事 22 名のうち 20 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

日臨技理事会、北日本支部幹事会の内容について別紙資料をもとに報告があった。

- ・山臨技のホームページも掲載しているが会員が逝去された。ご冥福をお祈りし、黙とうを行った。
 - ・6/5 (土) 病院協議会が開催され、日臨技の宮島会長、横地副会長よりタスク・シフト/シェアに関する講演をいただいた。
 - ・北日本支部医学検査学会：11 月に開催。山臨技 HP に掲載されている。そこから演題の登録などもお願いしたい。
 - ・「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種の専門性を踏まえた対応の在り方等について」厚労省からの通達あり。(別紙) ワクチンの打ち手として臨床検査技師が挙げられている。日臨技を介して 6/14～16 の 3 日間新型コロナウイルスワクチン接種に関する説明会が行われ、会長と理事が参加予定 (ZOOM による)
- 6/24 臓器移植推進機構評議会 居鶴会長出席
- 山臨技の事務所を 6 月より 1 部屋追加で借りている。引っ越し日時は未定だが、村山地区にお手伝いをお願いしたい。
- ・日臨技の議決権行使について：施設に戻って再度声掛けをお願いしたい。

2. 各地区 (村山／庄内・最上／置賜)

村山：特になし。

今後：事務所の引っ越し時には手伝いを行う。

県学会開催のための実行委員会の立ち上げをする。

庄内・最上：4 月 7 日地区役員会実施 (WEB 併用) し、年 2 回の地区研修会を実施することとした。

第 1 回目を 8/24 として話を進めている。

置賜：特になし

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：会員が亡くなられたため、会より香典を送った。

会計：本日の理事会より日当が発生している。日当は交通費に記載してほしい。

学術：6/5 部門長会議を行った。今年度の各部門研修会は ZOOMにするか参集型にするかは各部門長の判断とする。第 40 回山形県医学検査学会が 10/23 に開催予定。各部門に協力を要請している。

企画：11/20 山形ビッグウイングにて、「検査と健康展」を開催する予定。規模を縮小して、企画部と村山地区の会員に協力をお願いしたい。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：定期総会の基礎点について申請を行う。

精度管理・データ標準化：今年度のサーベイは 7 月に実施予定。参加は例年どおり。今年度より遺伝子部門のサーベイも行う予定。

山形医学検査編集：次回号を準備中。原稿依頼の際は期日内にご協力をお願いしたい。名簿についてのアンケートの返信もお願いしたい。

ホームページ：役員連絡帳→交通費請求書・領収書について様式が変更され次第更新する

役員連絡帳のパスワード:y-yamaringi

事務手続きのページを整備していく。(パスワード設定はなし)

山形県医学検査を閲覧するためのパスワード:yamaringi

○議題

1. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会について

別紙資料の実施計画（案）をもとに報告あり。事務所にはシミュレーターが届いている。

7 月中には基礎講習全コンテンツのアップロードが完了する予定。

8/8 岩手から 1 名、宮城から 2 名が北日本支部実務担当者としてシミュレーション研修会に参加する。8 月後半には北日本支部開催の実務担当者研修会が行われる予定。(60 名程度) 山形県からは 7 名を選出して参加する。このメンバーが県内講習の実務委員コアメンバーとなる。

5 年で 2~3 回/年の頻度で指定講習会を行う予定。講師の確保は各県で行うこととなる。

医師や看護協会などをお願いをしていく。保健医療大学などにも交渉しようと考えている。

参加費は 1 万円程度になると思われる。

山形県としては 10 月をめどに 1 回目の開催を目指す。1 回 10~20 名程度。基礎研修は WEB で受講しておく。1 年目は 78 名を目標にする。2 年目以降は倍程度、5 年で 550 名の受講を目指す。来年以降は講習を受けた人が実務委員として講義をすることになっていく。

2. 山臨技主催の Web 研修の参加費について

(学術部より)

昨年度は 9 部門中 8 部門が参集式ではなく、Web・メールでの研修会を行い、参加費は無料で行った。山臨技の規約では研修会の参加費は 500 円以上となっているが、徴収する際の徴収方法が決まっていない。Web での研修会は参加費を無料にしたい。

(研修会の資料作成や会議室使用料などの活動費用は部門会議の日当として支払われる。)

(質問)

山臨技の研修会は他県に開放しているのか。他県の会員からは参加費を取るのか。

→日臨技の会員であれば均一となっているので他県でも県内でも均一でよいと思う。

決定事項：今年度の Web 研修会は参加費無料で行うこととする。

県学会については会費 2000 円の徴収をする。ハイブリッドで行うが、ウェブ参加の場合の徴収方法が問題となる。クレジットカードなど……。詳細は開催担当の村山地区に考えてもらうこととする。

3. その他 :

臨地実習指導者講習会プログラムについて（別紙資料あり）：実習生を受け入れる施設には指導者を置くことになっていくと思われる。情報が入り次第お知らせしていく。

○連絡事項

- ・ 技師連盟：振り込みがまだの理事は手続きをしてください。
- ・ 10月23日(土)県学会開催予定。担当は村山地区。会場：天童ホテル
ハイブリッド方式。一般演題は会場で発表。特別講演か教育講演どちらかを考えている。
学会長：居鶴会長、実行委員長：植木副会長、副実行委員長：大江さん、事務局：阿部さん
学会テーマ：居鶴会長に一任
一般演題：8/20（18：00）締め切り。時間厳守でお願いする
- ・ 次回理事会（令和3年度 第3回）例年7・8月休会だが、日臨技からの要請があるため後日連絡することとする。

令和3年度 第3回理事会

- 1 招集日時 令和3年9月1日(水) 14:00～
2 開催日時 令和3年9月1日(水) 14:00～
3 開催場所 山臨技事務所(山形市)
4 出席役員 理事 居鶴一彦 植木哲也 鈴木貴志 加藤裕之 國井徹
 彦田耕一 樋口悦子 高橋勝也 佐藤直仁 伊藤久美
 長澤彩 白田美香 田中静佳 門間美穂 大江雅宏
 古城尚子 高橋裕美 齋藤裕 高橋郁子
 監事 小川一弥 鈴木智美 長澤ゆきえ
(総理事数 22名、監事数 3名)
議長 居鶴一彦
書記 國井徹

5 議事

本理事会は、理事22名のうち19名が出席(うち7名がZoomによるWeb参加)であり、定款第33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告/日臨技・北日本支部

はじめにWebによる日臨技宮島会長の挨拶動画が供覧され、その後居鶴会長より別紙資料をもとに報告があった。

- ・令和3年度の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会は東京・大阪を会場に391名修了。
- ・タスクシフティング業務啓発事業について 山形県では6/5に病院協議会にて開催した。
- ・令和3年度北日本支部学会 11/1～Webによる開催。座長依頼あり。
- ・臨地実習指導者講習会WGについて 山形県の代表として山形大学の叶内技師長が世話人、居鶴会長がWGとして10/31の中央講習会に参加する。
- ・「世界アルツハイマー月間」のイベント協力の依頼あり。山臨技ホームページをオレンジ色に装飾するなどの対応をホームページ委員長、加藤副会長に依頼。
- ・日臨技主催Web研修の山形県の修了状況について
新型コロナウイルスに関わる検体採取8名、新型コロナウイルスPCR基礎研修107名(うち非会員6名)、ワクチン接種基礎研修55名、タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会7名
- ・山臨技の公益法人の公益目的支出計画実施報告書の令和2年度分を県に申請中。

2. 各地区(村山/庄内・最上/置賜)

村山:8/24(火)に第40回県学会実行委員会を兼ねて役員会を開催

庄内・最上:9/11(土)に地区研修会(Web)を開催予定

置賜:特になし

3. 各部(庶務/会計/学術/企画)

庶務:特になし

会計:事務所2階の物品(エアコン・テーブル等)の整備に約110万円の支出を行った。

学術:染色体遺伝子部門・輸血部門よりWeb研修会のためのZoomの利用申請あり。

居鶴会長より日臨技認定資格試験の開催情報提供あり。一般・心電図・染色体・病理・臨床化学・認知症・救急検査の認定試験を12/5に幕張メッセにて一斉に実施する。

企画：全国検査と健康展 11/20（土）ビッグウイングにて開催予定。村山地区の役員、企画部担当の役員に実行委員の依頼をしている。山形市の10/15号の広報に開催について掲載予定。日臨技から助成金50万円振り込み済。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：6/12の「第48回定期総会」の参加人数47名と7/8に行われた「第34回山形造血管疾患研究会」の参加者9名が生涯教育として登録された。現在、「庄内・最上地区研修会」のみ生涯教育研修会等に申請されているので、各部門長に申請を依頼。

精度管理・データ標準化：7月にサーベイを実施、11月に精度管理報告書を発行予定。12月初旬に精度管理報告会実施予定（開催形式は未定）

山形医学検査編集：山形県医学検査の名簿号について、後日各施設に配送される予定。

ホームページ：山臨技ホームページに「意見箱」を作成した。活用いただきたい。

○議題

1. タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について

- ・居鶴会長より、8/17の日臨技臨時理事会にて受講料（会員15,000円、非会員40,000円）について審議、承認された経緯の説明があった。
- ・8/21開催予定だった北日本支部の実務者講習会が12/25（土）に延期された。（会場；フォレスト仙台）
- ・居鶴会長より、会費を個人で負担して受講した場合に山臨技から5,000円を補助する案について提案と説明があった。出席理事より意見を求め、「補助してもらえればありがたい」「施設より出張費として出るところ、出ないところがあり不公平感がないか」「5,000円以上の額を補助してはどうか」などの意見が出された。審議の後、一同に諮ったところ賛成多数にて承認し、本案は可決された。

2. 第40回山形県医学検査学会について

植木副会長より開催概要について説明あり。

- ・WebでのLiveおよびオンデマンド併用のハイブリッド開催とする。Web配信は業者に依頼予定（大風印刷、デジコンキューブ社と打ち合わせ実施後、業者選定）
- ・教育講演は総合管理部門担当で、埼玉県上尾中央病院の技師長へ依頼している。
- ・シンポジウムとして山形県病院協議会での内容を3名の演者に発表していただく。
- ・参加費2,000円としていたが、今回は第40回記念ということやコロナ禍での開催ということなどを考慮し無料としたい。→一同に諮ったところ賛成多数にて承認された。
- ・一般演題登録数は9/1時点で10題。〆切を9/10まで延長している。

3. その他

- ・日本臨床検査技師連盟の都道府県支部の政治団体設立状況の確認と新規設立依頼について山形県については設立していないと返答しており、政治団体の届出も行っていない。

○連絡事項

山形医学検査編集委員長より、抄録集の表紙写真募集しているお知らせあり。

- ・次回理事会（令和3年度 第4回） 令和3年10月23日（土）時間未定 場所：天童ホテル

令和3年度 第4回理事会

1 招集日時	令和 3年 11月 17日 (水)	14:00～
2 開催日時	令和 3年 11月 17日 (水)	14:00～
3 開催場所	山臨技事務所 (山形市)	
4 出席役員	理事	居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹 彦田 耕一 樋口 悦子 高橋 勝也 佐藤 直仁 伊藤 久美 長澤 彩 白田 美香 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 古城 尚子 高橋 裕美 齋藤 裕 高橋 郁子 玉井 真実
	監事	小川 一弥
	(総理事数 22名、監事数 3名)	
	議長	居鶴 一彦
	書記	門間 美穂 田中 静佳

5 議事

本理事会は、理事 22名のうち 20名が出席であり、定款第 33条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

居鶴会長より別紙資料をもとに報告があった。

1) タスクシフト講習会

- ・北日本支部主催で 11/27 開催。植木、鈴木両副会長を含む 7名が参加（前日見学に鈴木副会長参加）。
- ・山形県で基礎研修履修済みはタスクシフト講習会に参加する 7名を除く 19名、履修中の方は 68名。履修済みの方は今年度内に山臨技主催で開催予定の講習会に参加していただくことになると思う。5年で 70%の実地講習受講完了を目指す。（愛知県は実地講習会に 150名参加）
- ・実地講習会の講師となる医師は日臨技から指定されている先生にお願いすることとなる。看護師については医学部看護学科、医学部長に依頼予定。

2) ワクチン接種基礎研修

- ・Web 基礎研修受講修了は 62名。現状、県から接種の協力要請はない。
- ・検体採取に関する講習会は 437名 (70.4%) が受講修了。

3) 臨地実習指導者講習会

- ・令和 4年 3月中開催予定（支部単位で開催）。実習を受け入れている施設では 1名以上の指導者が必要となる。
- ・10/31 に中央講習会が開催され、山形代表として居鶴会長（担当理事ファシリテーター）、山形大学の叶内技師長（ファシリテーター）が講習修了。

4) 精度管理品質保証制度

- ・2022年 6月に施設認証制度が改正される。主な改正点は臨床化学・血液の 2部門から 10部門への拡大、是正改善の積極的な取り組みの評価など。
- ・改正に伴い認証期間が変更となり、2021年・2022年更新施設の認証期間は 2022年・2023年 3月 31日から 5月 31日に延長され、新認証期間は 6月 1日からとなる。詳細については後程お知らせする。

5) 次期日臨技会長選挙

11/10に立候補が締め切れ、宮島会長と横地副会長の2名が立候補している。12/15投票サイトが開設されるので、投票をお願いしたい。また、来年7月の参議院議員選挙についてもよろしくをお願いしたい。

- 6) 日臨技災害協定説明会：11/25 Zoomによる説明会に國井庶務部長が参加する。
- 7) 第72回日本医学検査学会：群馬県臨技主催、群馬県開催。
- 8) 第10回北日本支部学会：北海道臨技主催、函館市開催。ぜひ多くの演題提出を。
- 9) 日臨技宮島会長のご尊父様ご逝去。山臨技から弔電でお悔み申し上げた。

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

村山：初のハイブリッド開催となった第40回県学会が無事終了。皆さんの協力を感謝する。

総括については後程まとめて報告させていただく。

庄内・最上：1/29(土)第2回地区研修会（Zoom）を開催予定

置賜：特になし

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：日臨技災害協定説明会（Zoom）へ國井庶務部長参加

会計：特になし

学術：多数の研修会が実施終了または実施予定となっている（11/12病理部門、11/13染色体遺伝子部門、12/11微生物部門、12/12精度管理報告会、12/17総合管理部門、12/19輸血部門がサーベイ形式で開催、1/23血液部門）。

企画：

- ・全国検査と健康展 11/20（土）ビッグウイングにて開催予定。企画部員、村山地区役員等に実行委員の依頼をしている。ネームプレート、法被を準備する。骨密度検査はコロナ感染症対策のため実施せず、代わりに心電計を借用してデモ波形を見ていただく。また、コロナ抗原検査キットの展示も行う。物忘れ検査の機器を借用しようとしたが、予約がとれず今回は実施しない（次回開催時に検討）。

- ・公衆衛生学会への助成依頼あり。昨年同様2万円助成する。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：10/23第40回県学会に事前登録された方へ243名を生涯教育として登録した。今後アーカイブ上で登録希望された方の登録を行っていく。

12/17開催の総合管理部門研修会は基礎20点で登録しているので、ぜひ参加を。

精度管理・データ標準化：精度管理報告書を発行、11/22の週に各施設に届く。会場は350名収容の大きな会場を用意したので、ソーシャルディスタンスは十分に確保可能。軽食準備あり。

12/4日臨技の精度管理報告会へ佐藤直仁委員長参加（幕張メッセ）

山形医学検査編集：精度管理報告書納品済み。次号の原稿依頼を送らせていただく。

ホームページ：事務手続き用の書類フォームを新規追加したので活用いただきたい。他に県学会のアーカイブ（11/14まで）やコロナ抗原検査キット関連のお知らせの掲載、認知症月間でホームページをオレンジ色に装飾するなどの対応を行った。

○議題

1. 第40回山形県医学検査学会総括・各賞選定について

- ・居鶴会長より：Web での Live およびオンデマンド併用のハイブリッド開催により 243 名と多数の会員の方に参加いただいた。通常の参加型学会よりも多数の参加となった。今後、コロナが収束に向かえば参加型のみで開催にするかハイブリッドを継続するか検討していきたい。
- ・冨田学術部長より：各賞選定について
選考委員による一次選考が行われ、6 題が僅差のポイント数であった。本理事会に先立って実施された最終選考委員による選考で、学会賞は演題 No. 6 山形県立中央病院の鈴木大氏、若人奨励賞は演題 No. 4 山形市立病院済生館の折原晶氏に決定した。
→最終選考の結果について、理事会で諮られ、全会一致で承認された。表彰式は 12/12 の精度管理報告会で執り行う。
- ・植木学会実行委員長より
つい先日 (12/14) アーカイブの公開が終了したこともあり、まだ学会主務者へのアンケート等を実施できていないが、良かった点・反省点など取り急ぎ集約して次年度の学会主催の置賜地区の担当に引き継ぎたい。会計に関しても早々に締めて報告する。
- ・冨田学術部長より
ハイブリッド開催により 243 名と多数参加いただけてよかった。アーカイブ配信はスライドが見やすく、振り返りもできることから、予算があれば今後も Web の強みを生かした開催方式を検討してもいいかと思う。
- ・参加証明書は後程参加者（事前登録者およびアーカイブ登録者）へ一斉メールで送信する。
- ・次回、置賜地区開催。置賜は会場選定が限定的であり、参加型のみ形式に戻すのであれば厳しい状況。会場を村山地区に固定化し、運営を各地区で行う案もあり検討していく。

2. その他

特になし

○連絡事項

- ・次回理事会（令和 3 年度 第 5 回） 令和 4 年 2 月予定（時間・場所未定）

令和3年度 第5回理事会

- 1 招集日時 令和 4年 2月 18日 (金) 16:00～
- 2 開催日時 令和 4年 2月 18日 (金) 16:00～
- 3 開催場所 web 開催
- 4 出席役員 理事 居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹
 彦田 耕一 樋口 悦子 伊藤 久美 長澤 彩 白田 美香
 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 阿部 宏美 古城 尚子
 荒生 聖子 高橋 郁子 玉井 真実
 監事 小川 一弥 長澤ゆきえ
 (総理事数 22名、監事数 3名)
 議長 居鶴 一彦
 書記 白田 美香 阿部 宏美

5 議事

本理事会は、理事 22名のうち 17名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。(途中参加あり 計 18名)

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

居鶴会長より別紙資料をもとに報告があった。

1) 令和 4・5 年度理事候補者の推薦 (意見) について

例年どおり、来年度の県技師会会長を理事候補として推薦する予定。

2) 看護職員等処遇改善事業実施要綱について

厚生労働省からのコロナ対策のために取り組んでいる看護職員等に対して賃上げを検討するよう都道府県知事への通知があった。

臨床検査技師も該当するため、職場が該当する場合は措置をとることになる。

3) 第 71 回医学検査学会 (大阪府) への座長推薦依頼あり。一般演題 488 題のエントリーあり。

開催方法は未定 (Web または現地)。

山形県への座長依頼分野：微生物・生理・管理・遺伝子 各 1 名。

学術部長から部門長へ案内・依頼中。

4) 都道府県技師会主催「地域ニューリーダー育成講習会」について

山形からは該当者がいないため今回はキャンセルとする。

5) 衛生検査所・地区委員会調査指導員選考依頼について

下記の通り登録済。

検体：植木副会長 (県立中央病院)

6) ワクチン接種実技研修実施状況について

Web 研修実施。座学：64 名が修了済。 実地講習会：未定。

山形県ではワクチン打ち手が充足している状況であり、臨床検査技師がワクチン打ち手を現時点では実施する予定はないが受講は進めておくこと。

7) 永年職務精励賞の表彰該当者について

今後、日臨技から各県の該当者通知をしないことになった。

そのため山形県での該当者が把握できなくなった。

8) 精度管理試料申込について

実施予定。 参加申込：3/15 開始 締切：4/8

9) タスクシフト指定講習会について

山形 受講中：96名 指導者：7名 Web研修修了：24名

今後、実地研修を年に数回実施していく。

10) 輸血細胞治療学会と日臨技との研修会について

輸血テクニカルセミナーを実施する。

輸血細胞治療学会と日臨技において地域分けが異なるため調整中である。

11) 来年度の都道府県技師会との関連事業の紹介について

- ・生涯教育推進研修会助成
- ・全国「検査と健康展」
- ・「地域ニューリーダー育成講習会」
- ・「初級・職能開発講習会」

北日本支部にて持ち回りで実施中。山形県でも県主催で実施。

支部学会担当の学生フォーラムについては今後も継続するか、運用を検討していく。

12) 日臨技理事会開催について

日臨技理事会：1/22 開催

北日本支部の幹事会：2/25 開催予定

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

村山：特になし。

庄内・最上：1/29（土）第2回地区研修会を実施した。参加人数：39名。

置賜：3/5（土）Web研修予定。幹事会予定。

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：山形県臨床検査技師会災害時支援対策マニュアル策定について

今年度中に策定したい。

会計：今年度の活動費返金を期限までお願いしたい。メールにて依頼済。

学術：2/17に学術部の研修会を実施した。各部門について2月はWeb研修が多い様子。

企画：（鈴木副会長代理報告）

第48回山形県公衆衛生学会の協賛金の振り込み（¥20,000）を行った。

NPO法人子宮頸がんを考える市民の会へ寄付（¥30,000）を行った。

NPO法人子宮頸がんを考える市民の会HPに山臨技HPのリンクが貼られている。

日臨技へ全国「検査と健康展」の報告と収支報告をした。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：誤りがあったら年度内（3月中旬まで）にお知らせください。

また必要時は自己申告書の提出をお願いします。

精度管理・データ標準化：特になし。

「山形医学検査」編集：2月末にVol.31 No1発行予定。論文投稿なし。

ホームページ：各部門研修への案内や報告を掲載した。

5. その他

なし。

○議題

1. タスクシフト/シェア講習会について

厚生労働大臣主催の講習会であるため、会員、非会員に関わらずライセンス取得者は受講すること。

植木副会長（担当理事）より下記の通り報告があった。

- ・新型コロナ感染状況を鑑み、令和4年2/27（日）開催予定の第1回タスクシフト/シェア研修会は中止（延期）
- ・中止に伴う会場のキャンセル費は発生しない予定。
- ・令和4年4/10（日）に開催予定。会場：ビッグウィング
2/27への参加申込者はそのまま4/10に受講可能。そのため入金済の参加費は返金しない。
該当者45名および講師へはメールにて通知する。現在、15名分の空きがあるため、期日までのWeb講習終了者は新規申し込みも可能。受講料15000円のうち5000円は山臨技で負担する事となっている。

2. 臨地実習指導者講習会について

居鶴会長より報告があった。

学生指導において研修受け入れ施設に指導員をおかなければならない。

（講習会は、現在1施設1名の縛りあり。今後緩和予定。）

第1回北日本指導者講習会：2/19開催予定。60施設参加予定

山形県受講予定：荘内病院、日本海総合病院、県立中央病院

ファシリテーター：居鶴一彦会長 叶内和範（山形大学医学部附属病院）

学生だけでなく若手技師の教育へも活用できる内容のため、講習会用テキストを活用してほしい。

3. 令和3年度総括と決算予定状況

新型コロナ禍のこともあり、対面での研修が難しかった。

総会にむけて各担当者は総括・決算をまとめておくこと。

総会：6月（第1週か第2週）予定（庶務部長より案内実施）

報告書・議案書の作成は各担当者と相談して進めていく。

会計監査についても日時を検討する。

4. 令和4年度活動方針と予算について

活動方針は決算の状況をみて決定していくが、活動内容に大きな変化はないと思われる。

大江理事より

- ・精度管理報告会において「発表者の声が小声で聞こえない。」「アドバイザーが報告者より若く、アドバイスできない。」との意見が寄せられた。

居鶴会長より

- ・Web開催の研修では交流が得られにくい。新型コロナが収束してきたら部門長を中心に活動方法を検討していただきたい。「山形医学検査」の論文投稿の推進をお願いしたい。

高橋企画部長より（鈴木副会長代理報告）

- ・「学生ガイダンス」と「検査・健康展」を一緒に実施してはどうかとの提案があった。

他、ご意見ありましたら居鶴会長までメール下さい。

5. その他

居鶴会長より

来年度の理事継続について依頼があった。

高橋企画部長より（植木副会長代理報告）

県技師会事務所にて理事会開催時の駐車場について

事務所近くにある業者さんの駐車スペースを借りる事ができないか。→難しいだろう。

市の駐車場（ジャバ近く）を活用。→遠い。今後検討していく。

國井庶務部長より

大規模災害発生時に日臨技が被災した各都道府県に支援を行うために災害対策支援規程を作成した。その規程を基に災害時支援協定書を作成し、この理事会での承認後、日臨技へ提出する。

また各都道府県技師会での災害対策マニュアル作成が求められており、山臨技でも作成する必要がある。

災害対策マニュアル作成にあたり、下記項目の確認があり決定された。

- ・災害対策本部 第2 設置場所について：執行理事の所属先とする。
- ・組織構成について：役職名（副会長、理事等）を記載する。
- ・臨床検査薬卸連合会について：業者名は記載しない。
- ・訓練の実施回数について：規定はないため、年1回の実施とする。
- ・コンタクトリストの記載について：北日本支部の県名のみ記載する。
- ・費用支弁、傷害保険の記載について：空欄のまま日臨技へ提出し、アドバイスをもらう。
- ・災害時の連絡方法について：SNSを活用することも検討する。

まずは作成し、少しずつ改良していく。

國井庶務部長、居鶴会長とで作成を進めていく。

○連絡事項・その他

居鶴会長より

居鶴会長は今年度をもって会長職を退任となる。

- ・次回理事会（令和4年度 第1回）

令和4年 4月予定（時間・場所未定）